

# まちの話題

## そばの香りに魅せられて

日野郡新そばまつり

日野郡の新しい特産物ソバを使った新そばが味わえる、第6回日野郡新そばまつり(同実行委員会主催)が11月15日、根雨の日野総合事務所駐車場で開催されました。

今回は、郡内7つのそば店が出店し、個性豊かな新そばを販売、屋台に行列ができるほどの盛況振りでした。町内からは、たたらや、シュッポッポ、ひばり食堂が出店し、香り高い新そばを使ったメニューが来場者に好評でした。

会場ではこのほか、ミニコンサートやバザーなどにもぎわいました。



町内外から多くの人々が来場

あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。  
★役場企画政策課まで(電話72-0332)



現在は米子市在住のリリアナさん

## ルーマニアってどんな国

国際交流協会講演会

海外出身者を招いて、その国の文化や習慣などを学ぶ、日野国際交流協会(小谷博徳会長)主催の国際理解講演会が、11月17日、山村開発センターで開催され、同会員ら約20人が参加しました。

今回は、ルーマニア出身のリリアナ・ネキフォアさんを講師に、ルーマニアについての話を聞きました。

リリアナさんは、ルーマニアの四季やクリスマスの習慣などについて話したほか、参加者からの質問に答えていました。また、ルーマニア伝統の踊りに参加者と一緒に踊り、交流を深めていました。

## 地域づくりを考える

生涯学習まちづくり大会

11月15日、生涯学習まちづくり大会(町、町教育委員会主催)が町老人福祉センター(黒坂)で開催され、町内外から約1000人が参加しました。

今回は、「地域の連携協力によるまちづくり」をテーマに、伯耆町二部地区活性化推進機構の住田泰さんによる活動報告や、町内団体による意見交換を行いました。

意見交換では、それぞれの地域の現状や、ほかほか教室、ふれあいサロンなどの取り組みなどを報告。「問題点は何か」「どうしたら地域の人たちがもっと気軽に集まれるか」など、町民に身近なまちづくりについて話し合われました。



根雨2区、真住地区、舟場での取り組みを報告



大きな存在感にびっくり

## 除雪がもっとスムーズに

新ロータリー車がお披露目

町が新しく購入した除雪用ロータリー車の仕組みなどを紹介し、子どもたちに除雪について理解してもらおうと、11月18日、根雨小学校でお披露目式が行われました。

このロータリー車は、国からの生活対策交付金を利用して購入したもので、車道用のロータリー車の導入は町では初めてのこと。取り除いた雪を押し固める従来のブルドーザーとは違い、雪を遠くに飛ばす方式なので道路の幅を狭くすることがなく、バス路線などの除雪が期待されています。

式では、児童が実際に除雪車に試乗するなど、町の除雪事業について理解を深めました。



## 県内の劇団が共演

演劇ユニット「デルタ」公演

町内で活動している劇団、さん・ふいーるど(佐野咲百合代表)をはじめとする県内の6劇団で結成した演劇ユニット「デルタ」による、町制50周年記念公演「キャンドルは燃えているか」が、11月29日、町文化センターで上演されました。

この公演は、さん・ふいーるどが米子と倉吉の各劇団に呼びかけ、約2年がかりで実現したものです。

内容は、大企業の誘いに乗り、ある製品作りに関わった3人の男女が記憶を消されたことから始まる、スリルあふれる物語。

各劇団の精鋭である出演者14人は、的確な演技でサスペンスを表現し、客席からの拍手を浴びていました。



スピード感ある舞台を繰り広げる

## 人権尊重を呼びかけ

人権擁護委員が事業所訪問

毎年12月4日から10日の「人権週間」に合わせ、人権擁護委員による事業所訪問が、12月7日に行われました。

今年で61回目となる人権週間のスローガンは、「みんなで築こう人権の世紀」考えよう相手の気持ち育てよう思いやりの心」。町内の事業所、学校などを訪問した人権擁護委員の鳥居良光さん(黒坂)は、「人権が尊重される明るいまちづくりを」と呼びかけ、啓発グッズなどを手渡ししました。

人権擁護委員は、毎月1回の人権相談や人権擁護の広報活動を行うため国から委嘱された皆さんで、町内では鳥居さんのほか、山根美奈子さん(野田)と杉原和江さん(安原)が委嘱されています。